

A 会場

「次期静止気象衛星「ひまわり8号」がもたらす未来の気象学」

趣旨説明

座長 : 三好 建正 (理研)

- A101 別所 康太郎 (衛星センター) 次期静止気象衛星ひまわり8号の概要
- A102 樋口 篤志 (千葉大 CEReS) 「ひまわり8号」データの有効活用, 静止衛星群を用いた全球展開に向けた研究開発環境構築
- A103 関口 美保 (海洋大) ひまわり8号の観測バンドに特化した気体吸収テーブルの開発

座長 : 別所 康太郎 (衛星センター)

- A104 岩渕 弘信 (東北大院理) ひまわり8号のデータを用いた氷晶雲の解析
- A105 広瀬 民志 (千葉大 CEReS) MSG静止気象衛星マルチチャンネルを用いた降雨確率推定
- A106 弓本 桂也 (気象研) ひまわり8号データを用いたエアロゾル統合プロダクトの作製にむけて
- A107 竹中 栄晶 (東大大気海洋研) 「ひまわり8号」観測データに基づく日射量の準リアルタイム解析と太陽熱利用への応用及び太陽光発電出力のモニタリング

座長 : 瀬古 弘 (気象研)

- A108 小山 亮 (気象研) ラピッドスキャン上層AMVの台風構造・強度解析での利用可能性
- A109 大塚 道子 (気象研) 気象衛星ひまわり高頻度観測データのメソスケールデータ同化
- A110 中野 満寿男 (JAMSTEC) 夏季の北西太平洋域における台風発生予測可能性

総合討論

B 会場

「ブリュワー・ドブソン循環研究の現状と今後の展望」

座長 : 宮崎 和幸 (海洋研究開発機構)

- B101 菅原 敏 (宮教大) クロック・トレーサーを用いた AOA 推定の課題
- B102 村田 功 (東北大院環境) 微量成分の経年変化に見られる成層圏循環の変動
- B103 石戸谷 重之 (産総研) 大気重力分離の観測に基づく成層圏大気循環の研究とその今後の展望
- B104 直江 寛明 (気象研) CCM1 シナリオによる残差循環変動とオゾン QBO
- B105 出牛 真 (気象研) 気候モデルで表現される成層圏大気平均年代(MeanAge)の空間解像度および輸送計算スキーム依存性について
- B106 佐々木 拓也 (京大生存研) 化学気候モデルより得られたフリーラン実験のバイアスについて

座長 : 木下 武也 (NICT)

- B107 山下 陽介 (環境研) QBO と太陽 11 年周期が極渦の季節変化に及ぼす影響に関する成層圏 BDC と成層圏-対流圏結合の役割
- B108 小林 ちあき (気象研) 平均子午面循環の JRA-55 ファミリー間比較
- B109 野田 彰 (気候研究部) 一般化された変換 Euler 平均(GTEM)から見た平均子午面循環
- B110 林 佑樹 (東大院理) 非定常な波強制に対する子午面循環形成過程
- B111 平野 創一郎 (東大院理) 南半球成層圏最終昇温の年々変動における大気波動の役割に関する 3 次元解析
- B112 木下 武也 (NICT) 南半球中高緯度域の停滞性擾乱及び非定常擾乱に伴う物質輸送について

大会第1日 [5月21日(木)] 9:45~11:45 専門分科会

C 会場

「気象庁データを利用した気象研究の現状と展望」

趣旨説明(2分)

向川 均 (京大防災研)

座長 : 向川 均 (京大防災研)

- C101 *永戸 久喜 (気象庁数値予報) 気象庁現業数値予報システムの現状と開発計画
- C102 *新保 明彦 (気象庁気候情報) 気象庁現業1か月アンサンブル予報システム
- C103 *稲津 将 (北大院理) 確率微分方程式を用いた成層圏・対流圏の予測可能性の解析
- C104 野口 峻佑 (京大院理) 極夜ジェット振動の予測可能性
- C105 田口 正和 (愛知教育大) 成層圏大規模突然昇温の予測可能性: 2001/02~2012/13年の気象庁現業1ヶ月アンサンブル予報データの解析結果

座長 : 高藪 縁 (東大AORI)

- C106 *濱田 篤 (東大 AORI) ラピッドスキャンデータを用いた雲降水システムの発生・発達過程の研究
- C107 榎本 剛 (京大防災研) 現業数値予報モデルを用いた予測可能性研究
- C108 大竹 秀明 (産総研) 気象庁データの電力システムにおける利用可能性
- C109 村山 泰啓 (NICT) オープンサイエンスと科学研究データ共有に関する国内外動向について

総合討論(13分)

余田 成男 (京大院理)

*は招待講演 (各15分), それ以外は一般講演 (各9分)

D 会場

「気象レーダー60年の歩みと将来展望」

趣旨説明

座長：藤吉 康志（北大・低温研）

- D101 立平 良三 (元気象庁) 気象庁レーダー60年の歩み
- D102 深見 和彦 (国総研) 旧建設省～国土交通省におけるレーダ雨量計開発の歴史
- D103 長屋 勝博 (日本無線) 気象レーダー開発・製作の変遷—60年の取り組みをたどって—
- D104 浜津 享助 (元三菱電機) レーダー製作の歴史
- D105 和田 将一 (東芝) レーダー製作の歴史
- D106 塚本 尚樹 (気象庁観測) 気象庁現業用レーダーの機器仕様とデータ利用の変遷
- D107 大森 志郎 (気象庁予報) 気象庁の予報業務におけるレーダーデータの利用について
- D108 中北 英一 (京大防災研) 気象レーダーによる3次元観測情報のオペレーショナルな利用手法の開発
- D109 井口 俊夫 (NICT) NICTにおける降雨レーダ開発—TRMM衛星およびGPM衛星搭載降水レーダの開発—
- D110 上田 博 (名大地球水循環) 大学における気象レーダーの研究利用：1980年代から2010年代へ
- D111 藤吉 康志 (北大・低温研) 名大・水圏研と北大・低温研の気象レーダを用いた研究

A 会場

「地球環境変動観測ミッションGCOMによる全球規模の大気・生態系・雪氷・水循環変動観測計画」

座長：沖 大幹（東大生産研），可知 美佐子（JAXA/EORC）

- A151 沖 大幹（東大生産研） GCOM-W/AMSR2 の最新状況と水循環関連プロダクト
- A152 澤田 洋平（東大院工） AMSR2 観測輝度温度データを用いた陸域水文-生態系結合同化システム
- A153 青梨 和正（気象研） 次世代のマイクロ波イメージャ降水リトリーバルアルゴリズム開発（その3）

座長：村上 浩（JAXA/EORC）

- A154 村上 浩（JAXA/EORC） JAXA 気候変動観測衛星 GCOM-C ミッションとプロダクト開発の計画
- A155 堀 雅裕（JAXA/EORC） GCOM-C/SGLI プロダクトの打上げ後検証計画の概要
- A156 橋本 真喜子（大海研） 衛星リモートセンシングにおけるエアロゾル特性推定アルゴリズム「多波長マルチピクセル法」の開発と解析例
- A157 向井 苑生（京都情報大学院大学） ヘイズ（霧）と雲の識別と同定
- A158 永尾 隆（JAXA/EORC） GCOM-C 雲プロダクトの概要および雲特性推定における雲不均質性の影響について
- A159 栗原 幸雄（JAXA/EORC） ベイズ推定による GCOM-C 海面温度用の夜間雲検出

座長：堀 雅裕（JAXA/EORC）

- A160 久慈 誠（奈良女子大） 船舶搭載型雲底高度計観測データ解析による雲の特徴
- A161 片桐 秀一郎（東北大院理） MODIS データによる放射フラックスと地上観測サイトおよび他の放射フラックスプロダクトの比較について
- A162 小野 祐作（JAXA/EORC） 衛星多波長・多方向観測データと三次元放射伝達モデルによる上層植生と下層植生を区別した LAI の推定
- A163 宮崎 理紗（JAXA/EORC） GCOM-C/SGLI プロダクト地表面温度(LST)検証に向けたフラックスタワーサイトの地上データ解析
- A164 青木 輝夫（気象研） グリーンランド氷床上における積雪物理量の衛星リモートセンシング
- A165 馬淵 和雄（国環研） 地球観測衛星プロダクトと気候モデルプロダクトの相互利用検証

総合討論

B 会場

「中層大気研究の最前線」

趣旨説明

座長 : 西井 和晃 (東大先端研)

- B151 塩谷 雅人 (京大生存研) 衛星からの新しい中層大気統合観測 - SMILES-2 に向けて -
- B152 佐藤 薫 (東大院理) 南極大気精密観測に基づく地球気候変動機構に関する研究—第 IX 期南極地域観測事業重点研究観測計画—
- B153 高麗 正史 (東大院理) PANSY レーダーを用いた極域中間圏夏季エコー (PMSE) と中間圏界面付近の風速の統計解析
- B154 三村 慧 (北大院環境) 熱帯対流圏界層における氷晶生成過程
- B155 稲飯 洋一 (京大生存研) RS80 ラジオゾンデ気圧バイアスに起因する高度誤差とその気象観測プロファイルへの影響
- B156 伊藤 久徳 (九大) 7Be 濃度を用いた成層圏大気地表への最速降下経路の解明
- B157 廣岡 俊彦 (九大院理) 赤道域半年周期振動と成層圏突然昇温の関連について
- B158 雨宮 新 (東大院理) 3 次元伝播を考慮した重力波パラメタリゼーションに関する研究
- B159 西本 絵梨子 (京大院理) 二次元湿潤対流モデルで得られた QBO 的振動における鉛直運動量輸送の評価について

休憩

座長 : 坂崎 貴俊 (京大生存圏)

- B160 水田 亮 (気象研) アンサンブル予報モデル相互比較における成層圏突然昇温
- B161 野口 峻佑 (京大院理) 成層圏における惑星規模波反射現象の予測可能性: 2014 年 2 月の事例に関するアンサンブル再予報実験
- B162 上田 学 (京大院理) 成層圏突然昇温を引き起こした惑星規模波束の射出源に関する解析
- B163 柴田 清孝 (高知工科大) 成層圏突然昇温期間中の極渦のディスプレイスメント, スプリットと波数 1, 2 の性質について
- B164 門脇 正尚 (環境研) リオ・ガジェゴス (アルゼンチン) 上空の 2009 年 11 月のオゾン全量低下に関連した南半球高緯度の力学場の解析と 1979~2011 年の力学場・化学場の解析
- B165 小玉 知央 (JAMSTEC) 中層大気版 NICAM における基本場・大気重力波の解像度依存性
- B166 吉田 康平 (気象研) 熱帯対流圏界層における鉛直流の CMIP5 モデル比較
- B167 三好 勉信 (九大院理) 北極域の海氷減少が冬季成層圏循環に及ぼす影響
- B168 谷田貝 亜紀代 (名大太陽研) 超高層大気循環場への太陽フレア活動応答: ファブリ・ペロー干渉計から見た熱圏風への影響

C 会場

「大気と海洋のデータレスキューの現状とその利活用」

趣旨説明

座長：財城 真寿美（成蹊大）

- C151 三上 岳彦（帝京大） 19世紀における全国灯台気象観測記録のデジタル化に向けた試み
- C152 財城 真寿美（成蹊大） 19世紀の日本における気象観測記録のデータレスキュー
- C153 山本 哲（気象研） 東京気象台1875（明治8）年観測開始期のメタ情報(2)
- C154 釜堀 弘隆（気象研） 高層観測データレスキュー

座長：石井 正好（気象研）

- C155 遠藤 伸彦（JAMSTEC/RCGC） 20世紀におけるメコン河流域の降水特性データの復元
- C156 久保田 尚之（JAMSTEC/DCOP） 気候研究に向けた歴史気象資料の復元
- C157 鈴木 亨（MIRC） 海洋分野における国際的な歴史的データ発掘・救済プロジェクトの動向
- C158 佐藤 佳奈子（JAMSTEC/RCGC） 海洋観測データサービスの現状と展望

休憩

座長：久保田 尚之（JAMSTEC/DCOP）

- C159 熊澤 里枝（横浜国大） 1900年以降における日本の台風上陸数
- C160 遠藤 洋和（気象研） 過去100年に観測された夏季日本の気候変動
- C161 時長 宏樹（京大防災研） 熱帯太平洋における1920年代の気候シフト再考
- C162 石井 正好（気象研） 気候モデルによる大気海洋長期気候再解析の実現に向けて

総合討論

D 会場

「気象レーダー60年の歩みと将来展望」

座長：石原 正仁（京大）

- D151 楠 研一（気象研） 気象研究所における Xバンドドップラーレーダーを用いた研究 –これまでと今後–
- D152 足立 アホロ（気象研） C-band 二重偏波レーダーによる粒径分布と降水強度の推定精度
- D153 米山 邦夫（JAMSTEC） 海洋地球研究船「みらい」搭載のドップラーレーダーを用いた観測研究
- D154 中村 健治（獨協大学） TRMM の 17 年間の観測
- D155 牛尾 知雄（阪大院工） 気象用フェーズドアレイレーダの研究開発と将来展望
- D156 佐藤 晋介（NICT） フェーズドアレイ気象レーダーによる 30 秒毎の 3 次元観測データの利用
- D157 岩波 越（防災科研） Ka バンド雲レーダー観測網について –積乱雲発達の早期予測に向けて–
- D158 篠田 太郎（名大地球水循環） 名古屋大学 Ka バンド雲レーダの諸元と初期観測結果

総合討論

「気候変動が東アジア域気象に及ぼす影響の理解に向けて：マルチ気候モデルデータ解析」

趣旨説明

座長：中村 尚（東大先端研）

- D159 楠 昌司（気象研） 温暖化で雨の降り方が変わるのは何年ころか？
- D160 尾瀬 智昭（気象研） CMIP5モデルの陸上気温・降水の再現バイアスと将来予測
- D161 内海 信幸（東大生産研） 東アジアにおける将来の降水量変化に対する気象システム別の寄与度評価
- D162 仲江川 敏之（気象研） CMIP5実験における土壌水分の将来変化原因の統計的推定 (I)

休憩

座長：尾瀬 智昭（気象研）

- D163 西井 和晃（東大先端研） 気候モデル中での熱帯低気圧に伴う日本付近の降水量の評価
- D164 早崎 将光（筑波大） 日本付近の爆弾低気圧の将来変化
- D165 安永 数明（富山大理） 近年の日本海沿岸域の初冬期における降水量の増加傾向に関して
- D166 牛山 朋來（土研 ICHARM） フィリピン・パンパンガ川流域の力学的ダウンスケーリングによる降水のバイアス補正

総合討論

A 会場

降水システム I

座長 : 篠田 太郎 (名大地球水循環)

- A201 真木 太一 (九大名誉教授) 御蔵島・新島付近での2013年12月15~16日の液体炭酸散布による人工降雨実験
- A202 久芳 奈遠美 (東大大気海洋研) 衛星観測データの雲微物理学的解析 (3) -ハイブリッド雲微物理モデルによるCFODDの解析-
- A203 道端 拓朗 (九大院総理工) MIROC-SPRINTARSにおける暖かい雨の雲微物理スキームの評価
- A204 篠田 太郎 (名大地球水循環) 2013年6月26日にパラオ共和国上空を通過した降水セル上部で観測された過冷却水滴
- A205 田尻 拓也 (気象研) 黄砂イベント時の大気エアロゾルの氷晶核能 (その2)
- A206 荒木 健太郎 (気象研) 2014年2月14-15日関東甲信大雪の再現実験と氷晶核に関する感度実験
- A207 石坂 雅昭 (防災科研) 降雪の粒径と気象条件 -着雪条件とも関連して-
- A208 馬場 雄也 (JAMSTEC) 弱い地形性強制力による降水強化
- A209 諸田 雪江 (ウェザー・サービス) 雲解像モデルを用いた雷シミュレーションにおける中和電荷分配方法の検討~中和スキームの違いによる時空間発展傾向の比較~
- A210 岩崎 博之 (群馬大教育) 落雷エネルギーに着目したチベット高原における雷活動の特徴

B 会場

物質循環 I

座長 : 石戸谷 重之 (産総研)

- B201 長澤 親生 (首都大システムデザイン) 小型 1.6 μ m DIAL による大気境界層内の CO₂ 濃度分布観測 (1)
- B202 石戸谷 重之 (産総研) 北極域における船舶および地上観測による大気ポテンシャル酸素の変動要因の解明
- B203 石澤 みさ (環境研) Extremely high XCH₄ in summer 2013 over North-East Asia observed by GOSAT
- B204 梅澤 拓 (環境研) CARIBIC 観測による下部成層圏での塩化メチル濃度の変動
- B205 白石 浩一 (福大) 2014 年冬季北極成層圏でのエアロゾル中不揮発性成分の観測
- B206 秋吉 英治 (環境研) 北半球中高緯度域オゾン層破壊規模の塩素濃度および温室効果ガス濃度依存性
- B207 宮崎 和幸 (海洋研究開発機構) 成層圏における平均子午面循環と渦混合: 再解析データ比較
- B208 小寺 邦彦 (名大 STE) BD 循環上昇域に見られる東西波数 4 構造
- B209 原田 やよい (気象研) 質量重み付き等温位面上帯状平均法を用いた JRA-55 における大気の流れの整合性の評価報告 (第 2 報)

C 会場

観測手法 I

座長 : 花土 弘 (NICT)

- C201 高橋 暢宏 (NICT) TRMM EOM (End of Mission) 観測実験について (その1) 全体概要
- C202 花土 弘 (NICT) TRMM EOM (End of Mission) 観測実験について (その2) Wide Swath 実験
- C203 金丸 佳矢 (JAXA/EORC) TRMM EOM (End of Mission) 観測実験について (その3) Dense Sampling 実験
- C204 中村 健治 (獨協大学) TRMM EOM (End of Mission) 観測実験について (その4) 90度 Yaw 実験
- C205 瀬戸 心太 (長大工) DPR 標準プロダクト V04 に向けた降水強度推定アルゴリズムの改良
- C206 岡本 創 (九大応力研) CloudSat-CALIPSO-AIRS-AMSR-E の複合利用による北極域の雲量、雲微物理量、水蒸気量、海氷面積の解析
- C207 萩原 雄一郎 (九大応力研) CloudSat/CALIPSO/MODIS 複合利用による雲微物理特性導出手法の開発
- C208 三井 文乃 (東北大院理) 雲の鉛直分布による大気上端における雲の短波放射効果の違い
- C209 鈴木 睦 (宇宙研) 487GHz 帯での成層圏-中間圏の気温・風・H₂O・O₃ 計測の感度解析
- C210 清水 慎吾 (防災科研) 関東地方におけるマイクロ波放射計観測ネットワーク -初期解析報告-

D 会場

境界層・環境気象

座長：伊藤 瑠衣（京大防災研）

- D201 大橋 唯太（岡山理大生物地球） 平日と休日の人間活動の違いが都市熱環境に及ぼす影響
—大阪平野における気温の年間測定から—
- D202 岸 為良（名大院環境） 2014年12月17-18日にかけての名古屋における大雪について
- D203 名越 利幸（岩手大教育） 「肱川あらし」における霧の立体構造と風に関する数値実験
- D204 寺尾 徹（香川大教育） 降水量分布に対する高松市屋島による地形影響
- D205 伊東 瑠衣（京大防災研） 都市における気候形成の地理特性への依存性
- D206 服部 康男（電中研） WRF-LESによる大気境界層鉛直構造と地表面近傍での乱流生成機構への洞察
- D207 北 祐樹（東大工） 南半球中緯度海上風の乱流強度増大メカニズムについて

座長：大橋 唯太（岡山理大生物地球）

- D208 鈴木パーカー 明日香（筑波大生命環境） 東京の暑熱環境緩和における都市シナリオ適応効果
- D209 大橋 唯太（岡山理大生物地球） 夏季における熱ストレスの評価指標に関する一考察
- D210 王 敏叡（名大院環境） 冬季ウランバートルにおける大気境界層構造の変化と風が与える大気汚染への影響

A 会場

気候システム I

座長 : 神代 剛 (気象研)

- A301 百瀬 晴行 (無所属) ニューロ法によるマデンジュリアン振動の再現実験
- A302 越前谷 渉 (東大大気海洋研) 南方振動の力学・熱力学的起源
- A303 庭野 匡思 (気象研) 北西グリーンランド SIGMA-A・B サイトにおける気象条件の年々変動
- A304 宮本 歩 (東大先端研) 南インド洋の亜熱帯高気圧と移動性擾乱が下層雲に与える影響. Part 1: 冬季
- A305 神代 剛 (気象研) 雲タイプ別にみた夏季北太平洋上における層状性下層雲量の数年規模変動
- A306 吉森 正和 (北大院地球環境) 理想化数値実験における熱・水蒸気輸送の高緯度温暖化への寄与
- A307 新藤 永樹 (気象研) 気象研究所全球気候モデルの大気境界層スキームの改良(1)
- A308 川合 秀明 (気象研) MRI-CGCM3 における下層雲の雲フィードバック
- A309 小倉 知夫 (環境研) MIROC5 の雲フィードバックに浅い積雲パラメタリゼーションが及ぼす影響
- A310 田上 雅浩 (東大院工) 高密度降水同位体比データを用いた同位体領域気候モデルの検証

B 会場

物質循環Ⅱ

座長 : 工藤 玲 (気象研)

- B301 渡邊 明 (福島大・理工) Spectrum Sonde 観測
- B302 近藤 裕昭 (産総研) 3月12日深夜から13日未明の女川への放射性物質の輸送について
- B303 鶴田 治雄 (東大大気海洋研) 大気環境常時測定局で使用済みテープろ紙の分析による福島第一原子力発電所事故直後における東日本での大気中放射性セシウムの時空間分布(その1)
- B304 武 靖 (名大院環境) Characteristics of Spring Dust Outbreaks and their Relation to Land Surface Conditions in East Asia, 1999-2013
- B305 河合 慶 (名大院環境) モンゴル国ダランザドガドにおけるアジアダストのシーロメーター観測: AERONET スカイラジオメーターとの比較
- B306 工藤 玲 (気象研) ライダーとスカイラジオメータの複合解析によるエアロゾル鉛直分布の季節変動
- B307 阿保 真 (首都大システムデザイン) インドネシア・ケルト火山噴火による火山性成層圏エアロゾルの CALIPSO 衛星データ解析
- B308 松井 仁志 (JAMSTEC) ブラックカーボンとその放射強制力の不確定性: 混合状態解像モデルを用いた感度実験
- B309 大畑 祥 (東大院理) 大気・降水同時観測によるブラックカーボン湿性除去の研究
- B310 大島 長 (気象研) 全球モデルによるブラックカーボンの変質過程とその空間分布と放射効果への影響
- B311 板橋 秀一 (電中研) トレーサー法を用いた東アジア域の硫酸塩に対する中国の省別の発生源寄与の推定
- B312 竹村 俊彦 (九大応力研) 複数のエアロゾル関連モデル相互比較プロジェクト対応シミュレーション

C 会場

観測手法II

座長：下瀬 健一（防災科研）

- C301 今井 弘二 (宇宙研) Cross-Cutting Comparisons (C3) -観測データが簡単に見られるウェブサービス-
- C302 佐藤 英一 (気象研) 気象レーダーを用いた火山噴煙観測計画について
- C303 山田 芳則 (気象研) dual PRF 速度データの効率よい効果的な品質管理方法の開発
- C304 岩井 宏徳 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダーのレーダー反射強度およびドップラー速度の測定精度検証
- C305 橋本 健 (PCKK) フェイズドアレイレーダーデータと地上観測雨量との関係性把握への取り組み
- C306 下瀬 健一 (防災科研) ドップラーレーダー・ライダーデータを用いた下層風の3DVAR解析—2014年6月13日に降雹をもたらした降水システムの事例—
- C307 青木 誠 (NICT) ドップラーライダーによる雨滴粒径分布推定

気象予報

座長：高谷 祐平（気象庁気候情報）

- C308 高谷 祐平 (気象庁気候情報) 次期気象庁季節予測システムによる台風季節予測の可能性に関する研究
- C309 吉村 裕正 (気象研) 二重フーリエ級数を使用した非静力学全球スペクトル大気モデル
- C310 武村 一史 (京大院理) 重合格子法を用いた非静力学モデルによる山岳波の数値実験
- C311 林 悠平 (京大防災研) 非静力学圧縮性気象モデルによる竜巻様渦に関する数値実験
- C312 菊地 亮太 (東北大流体研) フライトデータとリアルタイムデータ同化による乱気流予測

D 会場

大気力学

座長：板野 稔久（防衛大地球海洋）

- D301 増田 章 (九大・応力研) 傾圧不安定の仕組み (1) -minimal model で考える物理と数理-
- D302 増田 慧 (京大院理) 傾圧不安定の仕組み (2) -増幅態の空間構造ほか補足-
- D303 黒田 友二 (気象研) 対流圏ジェットの維持機構について
- D304 吉崎 正憲 (立正大地球環境) 対流圏における気温減率の鉛直プロファイル (1)
- D305 伊藤 純至 (東大大気海洋研) 済州島後流に生じるカルマン渦列状雲の数値実験
- D306 相木 秀則 (JAMSTEC) 全ての緯度帯の波を対象とした Eliassen-Palm 理論と渦度力学
- D307 板野 稔久 (防衛大地球海洋) 3つの階段状渦度域で構成される準地衡流軸対称渦の特異値解析
- D308 山本 勝 (九大応力研) 極向き渦熱輸送が金星型超回転に与える影響
- D309 杉山 耕一郎 (宇宙研) 木星型惑星を想定した雲対流の数値計算
- D310 竹広 真一 (京大数理研) 高速回転する薄い球殻内の熱対流により引き起こされる表層縞状構造の消滅
- D311 齋藤 泉 (京大院理) ニュートン冷却を散逸過程とする強制浅水乱流における赤道西風形成のメカニズムについて
- D312 石渡 正樹 (北大院理) 同期回転水惑星大気構造の惑星半径依存性に関する数値実験

A 会場

「高解像度全球シミュレーションが拓く新しい気候・気象研究」

座長：梶川 義幸（理化学研究所），滝川 雅之（JAMSTEC）

- A401 小玉 知央 (JAMSTEC) NICAM AMIP タイプ実験における気候場の再現性
- A402 *三浦 裕亮 (東大・院理) 全球雲解像デモンストレーションを越えて
- A403 宮本 佳明 (理研計算科学) 地球大気における湿潤対流の発生の予測可能性
- A404 *芳村 圭 (AORI) 全球高解像度シミュレーションに向けた地表面過程モデリング
- A405 *村上 裕之 (GFDL) GFDL における高解像度大気海洋結合モデルの利用可能性について
- A406 *野中 正見 (JAMSTEC) 中緯度における海洋変動と大気変動
- A407 吉田 聡 (JAMSTEC/APL) 渦解像海洋シミュレーションにおける爆弾低気圧の海洋への影響
- A408 山浦 剛 (理研計算科学) NICAM AMIP タイプ実験における梅雨前線の動態
- A409 福富 慶樹 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルによる AMIP 型実験出力におけるアジアモンスーン域の熱帯季節内擾乱の再現性
- A410 那須野 智江 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルを用いた AMIP-type 計算における夏季アジアモンスーン

総合討論(10分)

* 招待講演

招待講演(発表 12分, 質疑 3分), 一般講演(発表 8分, 質疑 2分)

B 会場

「山岳域の気象・気候および環境への影響」

座長：筆保 弘徳（横浜国大），上野 健一（筑波大生命環境）

- B401 上野 健一（筑波大生命環境） 大学間連携事業（JALPS）による中部山岳域の気候変動研究
- B402 若月 泰孝（筑波大学アイソ） 中部山岳域の大気・陸面の気候変化予測
- B403 青木 一真（富山大院理工） 山岳大気・雪氷観測から得られる大気エアロゾルの気候変動影響
- B404 川瀬 宏明（気象研） 中部山岳域における積雪分布の把握と将来予測
- B405 Noh NamJin（岐阜大・流域圏センター） 冷温帯落葉広葉樹林の光合成・土壌呼吸特性の温暖化応答
- B406 玉川 一郎（岐阜大流域圏） 山岳域での炭素収支に関するサブグリッドスケールの影響

休憩

座長：川瀬 宏明（気象研），玉川 一郎（岐阜大・流域圏センター）

- B407 筆保 弘徳（横浜国大） 広戸風の発生メカニズム
- B408 西 暁史（筑波大学院生命環境） 関東地方の局地風「空っ風」に対する地形と混合層発達の影響
- B409 三瓶 岳昭（会津大 CAIST） 2007年1月福島県で観測された奥羽山脈風下の強風について
- B410 加藤 隆之（筑波大院生命環境） 斜面温暖帯・斜面冷気流の理想化数値シミュレーションと理論解

総合討論

C 会場

データ同化

座長 : 岡本 幸三 (気象研)

- C401 石橋 俊之 (気象研) 複数の OSSE 手法による仮想観測システムの評価 (3)
- C402 前島 康光 (理研計算科学) 局地的豪雨の予測における稠密な地上観測データ同化の効果
- C403 大塚 成徳 (理研計算科学) フェーズドアレイ気象レーダを用いた三次元降水時間補外実験
- C404 レ デュック (JAMSTEC) A hybrid-4DVAR system for the JMA non-hydrostatic regional model
- C405 横田 祥 (気象研) 観測局所化を導入したアンサンブル変分同化システム
- C406 国井 勝 (気象研) 領域大気海洋結合モデルを用いたアンサンブルカルマンフィルタの構築
- C407 牛山 朋来 (土研 ICHARM) EnKF を用いた 2012 年九州北部豪雨に伴う白川洪水の予測可能性
- C408 三好 建正 (理研計算科学) NICAM-LETKF を用いた GSMaP 降水量の同化実験
- C409 寺崎 康児 (理研計算科学) NICAM-LETKF システムを使った衛星輝度温度データ同化
- C410 岡本 幸三 (気象研) 衛星搭載レーダーの同化に向けて (その 3) GPM Core/DPR 同化の初期結果
- C411 青梨 和正 (気象研) Neighboring Ensemble に基づく変分同化法を使った 2014 年台風 11 号事例への衛星雲・降水観測データの同化実験 (その 1)
- C412 近藤 圭一 (理研計算科学) 10240 メンバーアンサンブルデータ同化実験による大気的非ガウス性の検証

D 会場

中高緯度大気・相互作用

座長：富川 善弘（極地研）

- D401 岩尾 航希（熊本高専） 成層圏突然昇温に伴う中間圏・下部熱圏の変動
- D402 佐藤 和敏（総研大複合科学） CFSR 再解析データによる海氷上積雪量と海氷厚の再現性について
- D403 富川 善弘（極地研） 2013年の南極下部成層圏における脱水過程
- D404 安井 良輔（東大院理） 昭和基地 MF レーダーの長期観測に基づく潮汐波・重力波・惑星波のクライマトロジーと年々変動の研究
- D405 南原 優一（東大院理） PANSY レーダーの観測データによる対流圏成層圏の小規模擾乱の解析
- D406 岩崎 俊樹（東北大院理） 東アジアの寒気流出に誘導される中高緯度の平均子午面循環

座長：美山 透（JAMSTEC/APL）

- D407 山本 勝（九大応力研） 2014年12月16日に急発達した南岸低気圧：日本海低気圧の役割
- D408 川野 哲也（九大院理） 道東地方に暴風雪被害をもたらした爆弾低気圧の数値シミュレーション：潜熱加熱と海面熱フラックスの効果
- D409 天澤 俊行（北大院環境） 東京に降雪をもたらす低気圧の経路と黒潮流路変動の関係についての統計解析
- D410 岩崎 慎介（九大応力研） 夏季・瀬戸内海の海洋潮汐に駆動される陸域の下層大気変動
- D411 美山 透（JAMSTEC/APL） Air-sea Interaction through Low Cloud over the Summertime North Pacific Ocean in a Regional Coupled Model
- D412 森岡 優志（JAMSTEC/APL） Potential sources of multidecadal climate variability over southern Africa

B 会場

降水システムII

座長 : 足立 透 (気象研)

- B451 磯田 総子 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダを用いた降水コアの3次元可視化
- B452 足立 透 (気象研) フェーズドアレイレーダを用いたダウンバーストの超高速観測
- B453 湯浅 惣一郎 (高知大理院) 台風201408号に伴い同時発生した二つの竜巻のレーダー解析
- B454 井岡 佑介 (京大防災研) 高解像度レーダーデータおよび数値実験による局地豪雨の発生機構に関する研究
- B455 南雲 信宏 (気象研) NHMによる孤立積乱雲発生前の海風の内部構造の解析: 2013年7月23日の事例
- B456 村田 文絵 (高知大理) 2014年台風18号に伴って現れた波状降水雲の構造
- B457 加藤 輝之 (気象研) 平成26年台風第8号にともなう7月9日沖縄本島での大雨の発生要因
- B458 加藤 輝之 (気象研) 平成26年8月20日広島での大雨の発生要因
- B459 廣田 渚郎 (極地研) 平成26年8月広島豪雨に対するARと上層渦の役割
- B460 高咲 良規 (立正大地球環境) バックビルディング型メソ対流系の維持機構-2013年7月28日山口・島根豪雨事例-

座長 : 栃本 英伍 (東大大気海洋研)

- B461 栃本 英伍 (東大大気海洋研) 強く発達しながら日本列島を横断した梅雨前線帯低気圧の数値実験 - 2013年6月26日の事例解析 -
- B462 栃本 英伍 (東大大気海洋研) 竜巻を伴う温帯低気圧の構造と統計的特徴
- B463 末木 健太 (東大大気海洋研) 台風に伴う竜巻の発生環境 - エントレインメントを考慮したCAPEにもとづく解析 -
- B464 柳瀬 亘 (東大大気海洋研) JRA-55を利用した日本海のPolar Lowのトラッキング その2
- B465 荒巻 健智 (東大大気海洋研) 関東南部における冬型降雪・南岸低気圧降雪
- B466 津口 裕茂 (気象研) 集中豪雨が発生する総観~メソ α スケール環境場の統計解析 -7月の西日本について-
- B467 高薮 縁 (東大大気海洋研) 南太平洋収束帯縁辺における背の高い雨の気象場の解析
- B468 古澤 文江 (名大地球水循環) TRMM衛星の降水特性と陸面マイクロ波射出率のトレンド分布
- B469 松岡 悠太 (筑波大院生命環境) 気象レーダを用いた夏季首都圏における降水システムの時空間解析
- B470 草薮 浩 (京都ウェザー) 平年値降水量グラフのクラスター分析による日本降水量地図
- B471 草薮 浩 (京都ウェザー) 気温図と四季気温マップ (V) - 四季気温マップと気温の高度低減率から見たオーストラリアの気候特性 -

大会第4日 [5月24日(日)] 13:30~17:00 一般口頭発表

C 会場

気候システムII

座長：筒井 純一（電中研）

- C451 加藤 内藏進 (岡大・教育・理科) 日本付近の初冬における冬型気圧配置の特徴に関する総観気候学的解析 (真冬と比較して)
- C452 三上 岳彦 (帝京大) 気象庁「東京」観測点の移転と気温日変化パターンの変化 - 夏期気温の事例 -
- C453 内山 常雄 (気象予報士会) 2015年の日本の気温偏差の推定
- C454 菅野 湧貴 (東北大院理) 特定温位面以下の寒気質量の蓄積と放出
- C455 杉本 志織 (首都大) バングラディッシュ周辺域での陸面状態に応じた降水特性の変化に関する高解像実験
- C456 村田 昭彦 (気象研) 高解像度アンサンブル地域気候シミュレーションによる将来気候予測
- C457 筒井 純一 (電中研) 気温上昇と累積CO₂排出量の関係についての論点
- C458 岡田 靖子 (京大防災研) 温暖化に伴う梅雨後期の平均場の特徴
- C459 日比野 研志 (筑波大生命環境) 降水の将来予測における時間・空間平均スケールの役割

座長：今田 由紀子（気象研）

- C460 杉 正人 (気象研) 将来温暖化時の確率降水量マップの作成 (1)
- C461 杉 正人 (気象研) 将来温暖化時の確率台風強度マップの作成 (1)
- C462 増田 善信 (元・気研) 地球温暖化とスーパー低気圧 (爆弾低気圧) の発生数の関係
- C463 星 一平 (新潟大院) 北半球海水域減少に伴う冬季の低温応答の季節内変動について
- C464 中村 哲 (極地研) 北極海氷減少に伴うBD循環強化と極域増幅への寄与
- C465 今田 由紀子 (気象研) 2014年のエルニーニョはなぜ成長しなかったか?
- C466 林 未知也 (東大大気海洋研) 大気海洋結合系の西風イベントに対する応答: 背景場季節性の重要性
- C467 渡部 雅浩 (東大大気海洋研) 大西洋数十年規模変動のメカニズムに関する数値的研究
- C468 谷貝 勇 (元気象大) 地球温暖化が影響する日本の冷夏と暑夏について (その7) - 東北地方でのみ起こった「温暖化による梅雨明けの遅れ」 -
- C469 小畑 淳 (気象研) 938年の噴火は白頭山かエルトギャウか: 地球システムモデル解析

D 会場

台風・熱帯大気

座長：宮本 佳明（理研計算科学）

- D451 和田 章義 (気象研) 2013年台風第18号(MAN-YI)に伴う豪雨と海洋との関係
- D452 和田 章義 (気象研) 2013年台風第30号(HAIYAN)の強度変化とTCHP
- D453 加藤 雅也 (名大地球水循環) 大気海洋波浪結合モデルを用いた将来気候時の台風のダウンスケーリング実験
- D454 安永 数明 (富山大理) 北西太平洋域における台風と指向流の統計的關係性
- D455 山崎 聖太 (横浜国大) 最悪の台風コースの検出と台風ノモグラム
- D456 堀口 桃子 (三重大生物資源) 2011年台風6号がUターンした理由とは
- D457 藤間 弘敬 (琉球大理) 2013年台風6号の発生前における下層渦と上層渦の関係
- D458 折口 征二 (気象研) 2012年台風第15号の多重壁雲と風速特性
- D459 宮本 佳明 (理研計算科学) 熱帯低気圧の眼の壁雲の交換周期について
- D460 金田 幸恵 (名古屋大学 HyARC) 西部北太平洋域における台風の強度特性と気象庁全球気候20kmモデルによる再現性
- D461 沢田 雅洋 (気象研) アンサンブル実験を用いた台風強度の水平解像度依存性の調査
- D462 嶋田 宇大 (気象研) ドップラーレーダーを活用した台風の強度推定 – その精度と有用性の評価 –
- D463 北畠 尚子 (気象研) ドボラック法とAMSUによる台風強度推定の比較
- D464 伍 培明 (JAMSTEC/DCOP) MJOとアジアモンスーンコールドサージによるタイ南部乾季の豪雨
- D465 柳瀬 篤志 (富山大理 (名大院環境)) スマトラ島における日周期降水活動の季節変化
- D466 高須賀 大輔 (東大大気海洋研) NICAM水惑星でシミュレーションしたMJO-like擾乱の地形感度実験
- D467 末松 環 (東大院理) Modulation of MJO propagation speed by the zonal SST gradient of the Indo-Pacific Warmpool
- D468 小柴 厚 (筑波大院生命環境) JRA-55長期再解析値の速度ポテンシャルによる熱帯循環の評価

大会第1日〔5月21日(木)〕 11:45~12:45 ポスター・セッション

- P101 菅原 広史 (防大地球海洋) 岬地形におけるフラックス観測
- P102 箕輪 昌裕 (古野電気) Dual-Doppler 法による風速場解析
- P103 石元 裕史 (気象研) 次期静止気象衛星ひまわり 8号観測による最適化手法を用いた雲物理量推定
- P104 鈴江 寛史 (衛星センター) 次期静止気象衛星ひまわり 8号観測データから算出される雲プロダクトの開発
- P105 栗原 幸雄 (JAXA/EORC) ひまわり 8号のための海面温度アルゴリズム開発
- P106 奥山 新 (衛星センター) 次期静止気象衛星ひまわり 8号観測データ
- P107 神野 有生 (山口大院理工) ひまわり 8号を用いた直達日射量推定アルゴリズムの開発事始め
- P108 石井 昌憲 (NICT) 航空機搭載コヒーレント差分吸収・ドップラー風ライダーの開発
- P109 川村 誠治 (NICT) 水蒸気観測を目的とした地デジ波伝搬遅延測定システムの研究開発
- P110 落合 啓 (NICT) 183GHz マイクロ波放射計による中緯度水蒸気観測の検討
- P111 山下 克也 (防災科研雪氷) 降雪種ごとの降水量捕捉率推定の試み
- P112 小司 禎教 (気象研) JAXA の MADOCA プロダクトを利用した GNSS 可降水量の高頻度・リアルタイム解析
- P113 吉田 智 (気象研) 関東平野における3次元雷放電観測の計画と概要
- P114 橋口 浩之 (京大生存研) 赤道 MU レーダーの観測角度範囲拡大のためのアンテナ配置に関する研究
- P115 永瀬 司 (WICS) 転倒ます型雨量計の比較観測(その2) ーインド, チェラプンジでの比較観測ー
- P116 岡田 啓太 (名城大) TRMM PR を用いた超高解像度降水気候値に見られる局所性
- P117 石垣 雄太 (古野電気) 高分解能気象レーダーを用いた都市小河川の水位推定
- P118 小田切 幸次 (山梨衛研) 2013年夏季における富士山周辺域での降雨分布とその要因について
- P119 堀江 宏昭 (NICT) EarthCARE/CPR 検証用高感度雲レーダの初期観測結果(その3)
- P120 若月 泰孝 (筑波大学アイソ) 弱雨時を対象とした雨量補正モデル
- P121 佐藤 香枝 (明星電気) 地上稠密観測 POTEKA で観測した 2014 年度夏季の突風観測結果
- P122 森 樹大 (東大院理) 降水・降雪中に含まれるブラックカーボン粒子の測定法の改良
- P123 佐々木 ありな (京大院理) 庄内平野における風変動の空間分布特性
- P124 藤枝 鋼 (気象研) 曇天時を含む地表面付近の下向き長波長放射量の推定
- P125 萩野谷 成徳 (気象研) 気圧日変化と地形特徴
- P126 河野 恭佑 (千葉工大生環) 海風侵入時の乱流スケールの変化
- P127 財前 祐二 (気象研) つくばで観測された新粒子生成の特徴
- P128 清水 厚 (環境研) 大気常時監視データによる黄砂判定のためのライダー観測結果の活用
- P129 山口 慶人 (九大院総理工) エアロゾルの微物理過程を表現するビン法数値モデルの開発
- P130 藤本 梨沙 (奈良女子大理) 奈良における地上光学観測データ解析によるエアロゾルの特徴
- P131 吉田 淳 (東大院理) レーザー誘起白熱法による鉄含有鉍物粒子の検出・定量法の研究
- P132 針ヶ谷 智生 (東大院理) レーザー誘起白熱法を用いた大気中ブラックカーボン粒子の混合状態と形態解析

大会第1日〔5月21日(木)〕 11:45~12:45 ポスター・セッション

- P133 中田 真木子 (近畿大) 都市域における浮遊粒子状物質(PM)の考察
- P134 橋北 太樹 (千工大院生環) 首都圏の大気中浮遊粒子状物質濃度と視程との関係
- P135 五十嵐 康人 (気象研) 2011年3月事故初期の大気中放射性Csの物理・化学性状
- P136 渡邊 貴典 (都大院都市環境) 光化学オキシダントによる森林の育成阻害リスクの推定
- P137 中島 虹 (首都大院都市環境) 夏季晴天弱風日の都心域における夜間の風系と汚染物質濃度分布の関係
- P138 原田 やよい (気象研) JRA-55を用いた北半球冬季の惑星規模波動の伝播特性解析~2013/14年北半球冬季に見られた東西波数2の卓越に着目して~
- P139 河谷 芳雄 (JAMSTEC) 7種類の再解析データ現れた赤道準2年振動の振幅変化
- P140 西井 和晃 (東大先端研) 南半球成層圏オゾン減少による気候変化に対する中緯度海洋フロントの役割

大会第2日〔5月22日(金)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P201 松下 拓樹 (土木研) 2014年2月の大雪時の雪崩発生条件に関する一考察(2)
- P202 大山 博史 (名大 STE 研) アルゼンチン・チリ南部で観測された春季の成層圏オゾン変動
- P203 菊地 信弘 (環境研) GOSAT SWIR 偏光情報の利用による温室効果ガス濃度導出精度の改善検討(2)
- P204 中前 久美 (NIES) 衛星データを用いた温室効果気体等の季節変動と経年変動について
- P205 金 憲淑 (環境研) Estimating regional CH₄ fluxes using ground-based and space-based observations
- P206 高辻 慎也 (気象庁環境気象) 南鳥島 C-130H 輸送機による北西太平洋上空の温室効果ガス観測
- P207 林田 佐智子 (奈良女大・理) 東アジア上空での大気オゾンの変動について
- P208 納口 泰輔 (北大院環境) 熱帯対流圏界層内脱水過程に関するラグランジュ的考察
- P209 今井 弘二 (宇宙研) Cross-Cutting Comparisons (C3) ーデータ検証のための利用方法ー
- P210 田中 博春 (長野県環境保全研) 長野県内の気温観測網2件とメッシュ気温データの比較検討
- P211 石崎 紀子 (JAMSTEC/DSEP) 温暖化に伴う冬季日本海沿岸の降水強度の変化と不確実性
- P212 藤田 実季子 (JAMSTEC) NICAM AMIP-type 実験による日本域夏季降水の将来変化
- P213 高橋 信人 (宮城大) 日本付近における前線帯の季節進行の指標化に関する研究
- P214 原 政之 (CESS) 名古屋都市圏の将来温熱環境予測の不確実性の評価
- P215 田中 実 (無所属) 近年の9月の日本の高温に対する北極海海水の影響
- P216 永田 玲奈 (無所属) 1901~2000年における北太平洋高気圧指数と日本の夏季降水量との関係
- P217 釜江 陽一 (環境研) 近年の熱帯対流圏上層における気温上昇の停滞傾向
- P218 佐藤 雄一 (弘前大院理工) 亜熱帯前線帯 NACZ,SACZ,SICZ の形成メカニズム
- P219 大田 悠 (日本大院総合基礎) 東アジアにおける偏西風の空間変動特性
- P220 筒井 浩行 (地球観測研究センター) マイクロ波によるチベット高原の疎らな積雪分布の評価とそれに基づく AMSR2 積雪深標準アルゴリズムの改良
- P221 増田 宇将 (筑波大地球学類) ユーラシア大陸北東部における積雪の将来変化
- P222 小松 麻美 (気象協会) 北海道における気候変動適応研究のための水文・気象ダウンスケールデータの情報公開ツール「近未来ビューワ」の開発
- P223 三輪 夏菜 西部北太平洋における7月下旬の活発な対流活動の経年変化
- P224 北野 慈和 (北大院工) CMIP5 マルチモデルを用いたブロッキング発生頻度と極端現象の発生位置の変遷
- P225 野崎 瑛一 (首都大都市環境) 北西太平洋における夏季の降水季節進行の長期変化について
- P226 小川 晨一 (東大先端研) 夏季北太平洋における下層雲の10年規模変動
- P227 堀 正岳 (JAMSTEC/RCGC) CMIP5 気候モデルにおける低気圧経路と活動度の将来変化
- P228 佐藤 和敏 (総研大複合科学) 初冬のメキシコ湾流が北極温暖化と大陸寒冷化に与える影響
- P229 横畠 徳太 (環境研) 気候変動リスク連鎖の全体像の可視化
- P230 大島 和裕 (JAMSTEC/RCGR) シベリア河川流量の長期変動とその要因
- P231 竹内 大輝 (北大工学院) 北パキスタンにおける豪雨発生時の大規模気象場の特徴
- P232 山上 晃央 (筑波大院生命環境) 3次元ノーマルモード展開を用いた MJO のエネルギースペクトル解析

大会第2日〔5月22日(金)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P233 松本 直樹 (京大生存研) レーダー長期観測による赤道域の中間圏・下部熱圏における大気力学過程
- P234 伊藤 享洋 (気象庁数値予報) 波数1の渦 Rossby 波の指数関数成長
- P235 金久 博忠 (気象大) 山岳波の初期値問題の解析解
- P236 北野 慈和 (北大院工) 底面からの加熱及び冷却を伴う回転水槽実験
- P237 志水 達也 (京産大・理) 金星上層大気にみられる不安定波の特徴
- P238 杉山 耕一郎 (宇宙研) 雲解像モデル CReSS の火星大気への適用: 地形と大規模循環の効果の導入
- P239 高橋 芳幸 (神戸大院理) 惑星大気大循環モデルの構築 - 鉛直一次元設定での数値実験

大会第3日〔5月23日(土)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 深堀 正志 (気象大) 干渉フィルター型サンフォトメータの測器定数の変動監視
- P302 佐々木 駿 (気象大) 天空放射輝度分布測定から推定されるエアロゾル光学特性について
- P303 茂木 信宏 (東大院理) ブラックカーボン含有粒子の光学特性の高精度計算法
- P304 山田 恭平 (東北大院理) 極域の放射収支と雲および温室効果気体の寄与の変動
- P305 大西 将徳 (神戸大院理) 水蒸気大気の圏界面の推定とハビタブルゾーンの内側境界
- P306 田村 夏美 (京大院理) 衛星搭載降雨レーダデータを用いたブライトバンドの解析
- P307 鈴木 祐人 (名大地球水循環) 雲粒子ゾンデ HYVIS により観測された台風上部吹き出し層の氷晶粒子の粒径・数濃度分布
- P308 林 浩平 (防大地球科) 豪雪減衰を目的とした人工降雨実験の結果と解析
- P309 小西 啓之 (大阪教育大) USB 顕微鏡を用いた雪結晶観察装置の試作と降雪粒子観測
- P310 宗近 夏美 (山口大農) GPM/DPR 地上検証のための山形蔵王における融解層内の降水粒子直接観測
- P311 佐藤 陽祐 (理研計算科学) 超水滴法を用いた洋上の浅い積雲の再現実験と妥当性評価
- P312 山田 芳則 (気象研) 「超高解像度観測と数値モデルによる大雪や突風をもたらす降雪雲の動態に関する研究」の概要紹介
- P313 道本 光一郎 (ウェザー・サービス) フェーズドアレイ気象レーダー(PAWR)等を利用した高密度四次元気象予測手法とそれに基づく防災情報提供に関する研究
- P314 大高 早苗 (筑波大院生命環境) 都市の力学的効果が首都圏の降水に及ぼす影響
- P315 渡邊 貴典 (都大院都市環境) 都市の幾何形状が集中豪雨に及ぼす影響～東京 23 区で発生した事例を対象にして～
- P316 小堀 佳奈子 (筑波大院生命環境) JRA-55 を用いた長期気温変動における都市化成分の評価
- P317 中川 清隆 (立正大地球環境) 領域気象モデル WRF により再現計算された上信越山岳域における 2013 年 8 月晴天日気温・気圧日変化と地表面熱収支
- P318 勝野 継太 (名大地球水循環) 2013 年 9 月 4 日に東海地方で大雨をもたらした降水帯の特徴
- P319 出納 誠 (高知大院総合人間自然科学) 高知大朝倉レーダーを用いた台風 12 号に伴う線状降水帯の観測
- P320 大井川 正憲 (京大生存研) ジャワ島西部バンドン盆地で観測されたメソスケール対流についての数値実験
- P321 高野 哲夫 (気象予報士会) 山形県における気温分布と降雪量の時刻依存性の検討
- P322 渡邊 俊一 (東大大気海洋研) 冬季日本海上の渦状擾乱の分類と発生環境場の解析
- P323 佐藤 友徳 (北大院地球環境) 北日本太平洋側の冬季降水量に対する低気圧を介した海面水温の影響
- P324 清水 宏幸 (九大院理) 長白山系による冬季日本海の総観規模低気圧活動の変調
- P325 浅井 博明 (東京学芸大自然科学) 北極海で観測された北極低気圧の構造解析
- P326 田中 健路 (広工大環境) 九州西岸の潮位副振動発生時における東シナ海上での大気場に関する観測
- P327 万田 敦昌 (長大院水産環境) 東シナ海が梅雨前線帯に及ぼす影響
- P328 安藤 雄太 (大気循環と周辺の海面水温が初冬の日本に与える影響)
- P329 渡来 靖 (立正大・地球環境科学) JRA-55 で見られる北半球ジェット気流の長期傾向
- P330 西村 雅人 (気象大) 選択的アンサンブル平均手法による台風予測に関する研究

大会第3日〔5月23日(土)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P331 那須野 智江 (JAMSTEC) 夏季西太平洋における台風発生事例の要因分析 (第2報)
- P332 西村 明希生 1955年以来的世界海洋における高熱帯低気圧熱ポテンシャル海域の拡張
- P333 瀬古 弘 (気象研) LETKFを用いた気象衛星ひまわりの高頻度観測データによる海風前線の同化実験
- P334 野原 大輔 (電中研) ダウンスケーリング法を用いた領域アンサンブル予測
- P335 上田 博 (名大地球水循環) Assessment of wind fields simulated by CReSS for offshore wind energy generation
- P336 吉田 龍二 (理研計算科学) SCALE-LESモデルにおけるドメイン・ネスティングの実装と評価
- P337 中野 直人 (JST さきがけ・北大院理) 確率微分方程式モデルによる時系列予測可能性解析
- P338 坂元 尚美 (京学大) 日記天候記録による日射量復元の高精度化に向けた誤差評価 (その1) 記録者による天候記述のばらつきとその推定日射量への影響
- P339 関 隆則 (気象予報士会) 生徒の能動的参加を重視した天気予報実習の事例「天気予報をやってみよう」

大会第4日〔5月24日(日)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P401 齊藤 雅典 (東北大院理) デジタルカメラを用いた天空光のスペクトルを推定する手法の開発
- P402 内山 明博 (気象研) 地上でのエアロゾル光学特性の連続観測 (2) (福岡と北京の比較)
- P403 清水 治 (防大地球) 空気潤滑法で生成される泡の反射率測定
- P404 茂木 信宏 (東大院理) 不純物粒子を含む水雲の光学特性の高精度・高速な近似計算法
- P405 田村 葉里 (東北大院理) 熱帯における氷晶雲の物理特性の経年変動
- P406 因幡 直希 (筑波大院生命環境) 気象レーダパラメータを用いた雨滴粒径分布推定手法の開発
- P407 森野 達也 (名大地球水循環) 雲解像モデルによりシミュレーションされた冬季雷雲内の電荷分布の時間変化
- P408 中井 専人 (防災科研・雪氷) 同時観測に基づいた降雪粒子の種類別 Ze-R 関係
- P409 村田 文絵 (高知大理) 高知における雨滴粒度分布の観測
- P410 プテリ ヌルフィエナ サギタ (東北大院理) The Evolution of Microphysical Properties of Tropical Mesoscale Convective Systems (MCSs): Performance of Tracking Algorithms
- P411 岩崎 杉紀 (防大地球海洋) 熱帯の成層圏に存在する雲 (stratospheric cirrus) の分布
- P412 橋本 明弘 (気象研) 雹害報告数と数値モデルによる固体降水予想値の比較
- P413 鈴木 博人 (JR 東日本防災研) レーダー雨量の列車運転規制への活用に関する研究
- P414 木村 孝承 (防衛大地球海洋) 2013年9月16日群馬県みどり市で発生した竜巻の地上稠密観測データをを用いた解析
- P415 丸小 有沙 (筑波大地球) 地形性降水メカニズムに応じた衛星降水量の標高依存性
- P416 柏柳 太郎 (日本無線) 雲レーダーで捉えた2012年9月3日に房総半島で発生した積乱雲の解析
- P417 大泉 伝 (JAMSTEC) スーパーコンピュータ「京」とNHMを用いた2014年8月の広島の豪雨の高解像度実験
- P418 渡邊 智也 (筑波大院生命環境) 梅雨前線帯のメソ α スケール降水システムの理想化数値実験手法
- P419 加藤 新太 (筑波大院生命環境) JRA-55を用いた日本での豪雨発生環境場に関する統計的研究
- P420 松下 拓樹 (土木研) 着雪条件下の大雪事例 ~2014年12月の高田における事例~
- P421 木村 祐輔 (新潟大院自然) 冬季季節風時の降水に与える佐渡島の影響について—JMANHMを用いた感度実験—
- P422 高松 直史 (東北大院理) 地域気候モデルを用いた東北地方の積雪水資源の再現性
- P423 井上 晃介 (東京学芸大院 教育) 早春における日本付近での温帯低気圧の急発達事例に着目した大気循環場の比較
- P424 平田 英隆 (九大院理) 黒潮続流域の海面水温変動に対する爆弾低気圧の応答
- P425 宮地 友麻 (首都大都市環境) 冬季東シナ海における SST 変動のメカニズム
- P426 佐藤 笑 (弘前大院理工) 東シナ海黒潮近傍で観測された霧 —2013年と2014年の観測事例—
- P427 坂崎 貴俊 (京大 RISH) 中緯度下部対流圏に見られる日周期東進渦
- P428 アブディラー ムハンマド ライス (東北大理) Transient Impact and Response of Isentropic East Asian Cold Air Outbreak to Tropical Convective Activity
- P429 二宮 大輝 (首都大院都市環境) 冬季東アジアモンスーン季節内変動に着目した長期変化解析
- P430 櫻木 智明 (気象研) SSMIS 輝度温度データを用いた台風強度推定法の開発

大会第4日〔5月24日(日)〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P431 安藤 雄太 (三重大院生物資源) 台風通過による海面水温低下が他の台風経路に与える影響
- P432 斎藤 龍生 (東京海上研究所) CMIP5 マルチモデルと確率台風モデルを組合わせた将来台風予測③
～生涯最低気圧となる緯度の将来変化～
- P433 田崎 瑛 (気象大) 日周的陸大気結合実験
- P434 黒木 志洸 (気象大) 鉛直方向に Chebyshev 多項式展開を用いた静力学全球3次元スペクトルモデルの構築
- P435 瀬古 弘 (気象研) LETKF を用いた GNSS 掩蔽データの同化法の開発
- P436 村崎 万代 (気象研) JMA-NHM の日射誤差の数値実験による考察
- P437 渡邊 武志 (東海大 TRIC) 太陽光発電エネルギーマネジメント教育のための気象情報を利用したソーラーカーシミュレーター
- P438 藤原 優 (岩手大教育) 中学生による「NHM 統合環境」を用いた気象数値実験の教育効果